

と き：令和3年11月2日(火)14:00～

ところ：市政記者室

■ 御堂筋・なんば駅周辺の社会実験の実施について

<担当：建設局企画部企画課（道路空間再編担当）電話：06-6615-6536>

【フリップあり】

- ◆ 大阪のメインストリートである御堂筋は、車中心から人中心のストリートへの転換に向けて、側道の歩行者空間化を進めている。
- ◆ このたび、すでに側道の歩行者空間化が完了している道頓堀橋からなんば駅前の区間や、今後、側道の歩行者空間化を予定している大丸前交差点（北西部区間）の歩道を活用し、官民が連携した社会実験「御堂筋チャレンジ2021」を昨年に引き続き実施する。
- ◆ 今回の社会実験は、令和3年11月3日（水曜日・祝日）から12月2日（木曜日）までの間、御堂筋の歩道空間を活用し、広がった歩道の滞在空間の利活用状況、エリア周辺の回遊状況などの将来整備のための検証を行い、より快適で安全・安心に回遊できる御堂筋へ整備していく。
- ◆ また、大阪ミナミの玄関口であるなんば駅周辺では、令和3年11月23日（火曜日・祝日）から12月2日（木曜日）までの間、なんば駅周辺の一部道路の交通規制などを実施し、空間再編後の道路線形を具現化し、交通荷捌きの運用や安全性の検証、歩行者空間の利活用に関する検証を行う社会実験を実施する。
- ◆ なんば駅周辺は、多くの来街者が行き来する場所であるが、車道には多くの車が行き交い、駅前広場から周辺エリアへの移動には車道により分断されており、車中心の空間となっている。
- ◆ 平成28年度に、なんば駅周辺の道路空間の魅力向上を目的に官民で社会実験を実施するとともに、空間再編に向けた基本計画を策定した。
- ◆ 今回の社会実験は、この基本計画のもと、なんば駅周辺を車中心から人中心の道路空間再編を実現するために実施するものである。
- ◆ これらの社会実験を踏まえ、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたオープンエアな公共空間をデザインすることにより、新たな憩いの空間や魅力ある都市空間を創出し、世界を惹きつける観光拠点にふさわしいミナミエリア全体の価値向上につなげていきたい。